



健康への理解を深める ～第35回記念市民健康教室

9月7日、第35回記念市民健康教室が市民会館で開催されました。ステージでは、今回初めて女性消防団員による心肺蘇生法実技指導が行われ、恒例となった心肺蘇生法コンテストでは市内スポーツ少年団9チームが出場するなど、様々な催しが行われました。

また、鹿児島大学大学院の山中寛教授による講演では、「がんになってわかったこと」と題し、がん発症を認識してからの4年6カ月間の報告と、大切に丁寧に生きることを訴えました。

その他にも会場内では、健康相談や健康食の展示コーナー、献血などが行われ、入場者は健康への理解を深めていました。



枕崎の昔話を紙芝居に ～ボランティア団体が紙芝居を作成

市内で活動する読み聞かせボランティアグループが、枕崎の昔話を主題にした紙芝居を作成しました。

この紙芝居は、子どもたちにも枕崎の昔話を伝えたいという思いから、各グループで聞き取りを行ったり、枕崎市誌をもとに作成されたものです。

現在、「鹿籠牧苑物語」、「山立神と岩戸山のけんか」、「民話ほととぎす」、「山ん神と松崎家」の4つの紙芝居が完成しており、各学校や施設での読み聞かせの際に活用されています。

おむすびの会の朝田栄子さんは「この紙芝居を見てくれた子どもたちが、郷土愛をもってくれたらうれしいです」と話していました。

今後も各団体が紙芝居は作成され、読み聞かせを行う予定です。



上級者の技術を学ぶ ～県地方青少年柔道錬成大会

8月27日から29日までの3日間、武道館において、県地方青少年柔道錬成大会が実施されました。

この大会は、柔道に対する正しい理解を深めるとともに実技を通して技術の向上や相互の親睦を図ることを目的に実施されているものです。

今回、世界柔道選手権大会にも出場経験のある眞喜志慶治さんらを講師に迎え、参加した46人の児童・生徒たちは真剣なまなざしで講師らの動きのひとつひとつに見入っていました。

参加者の松野下幸亮くん(枕崎小6年)は、「この3日間てたくさんの事を学んだので、これからの練習でどんどん生かしていきたいと思います」と話してくれました。



読書キャンプに参加しました！ ～投稿者：田邊虎之介くん(桜山小6年)

夏休みに同じ桜山小図書委員の高城琴音さんと学校代表として東京で行われた2泊3日の読書キャンプに参加しました。このキャンプに参加できたのは、桜山小学校が子どもの読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞を受賞したからです。

キャンプでは、昔、東京オリンピックが開催された時の選手村に宿泊し、池上彰さんの講演会や野外活動に参加し、国際子ども図書館にも行きました。キャンプの中でも一番印象に残っているのは「ピブリオバトル」で、数人のグループで各自おススメの本を3分間紹介し、その中で一番いいと思った本を投票で決め、「チャンプ本」を決めるというゲームです。

僕はピブリオバトルで、他の県から参加している同じ班の人たちとたくさん意見交換をすることができ、交流を深めることができました。この経験を生かして、学校でもみんなが本で交流できるようにピブリオバトルを広めていきたいです。



瀬崎稜空くんが最高賞を受賞 ～第6回南日本ジュニア美術展

第6回南日本ジュニア美術展で、瀬崎稜空くん(枕崎幼稚園)の作品「くわがた」が最高賞の南日本新聞社賞を受賞し、9月21日に南日本新聞会館で授賞式が行われました。瀬崎くんは「書いてる時に、くわがたのハートが僕の中に入ってきました。賞をもらえてうれしいです」と笑顔で話してくれました。



第68回さつま鯉節 産地入札即売会

9月12日、枕崎水産加工業協同組合の入札会場で開催され、市内23社が出品。全国から集まった仲買人らが、コンペアーで運ばれてくるかつお節とさば節に次々と値をつけていきました。



「薩摩青雲丸」出航

9月13日、鹿児島水産高校の実習船「薩摩青雲丸」がハワイ沖での実習航海に向け、枕崎漁港を出発しました。今回参加する20名の生徒たちは多くの人たちに見送られ、航海へ向かいました。



福岡工業大学吹奏楽団 特別演奏会

9月21日、市民会館で行われました。枕崎中学校吹奏楽部の出演や枕崎高校吹奏楽部との合同演奏があり、アンコールでは「枕崎音頭」が演奏されました。



駅前広場にビアガーデン

9月20、21日に駅前広場駐車場で商工会議所青年部主催の「まくらざき屋台村・ビアガーデン」が実施されました。残暑の中、来場者は冷たいビールを飲みながら、楽しく過ごしていました。